

いびき症（睡眠呼吸障害）の病態

睡眠時無呼吸症候群をとりまく病気

2010年6月

いびき症とは、いびきをかく病気の総称です。一番軽いのは「単純いびき症」で無呼吸も睡眠障害もないもの、次は「上気道抵抗症候群」といって無呼吸はないけど睡眠障害があるもの、最も重症な「睡眠時無呼吸症候群」は無呼吸も睡眠障害もあるものです。

睡眠時無呼吸症候群が世の話題になった頃は、死につながる「怖い病気」と言われました。睡眠ポリグラフによる脳波の診断が進歩してくると、眠気の強い「危険な病気」、そして最近では、誰もがなりうる「身近な病気」と考えられるようになってきました。それを受けて日本睡眠学会の認定施設では、眠気やいびきの音にも積極的に治療を行うようになりました。

当然、軽症なうちに、合併症が起きないうちに、治療を行うと、治療費も少なくすみ治療の結果も確実です。

いびき症の病態

分類	いびき	呼吸障害	睡眠障害
睡眠時無呼吸症候群	途切れ 途切れ	あり	あり
上気道抵抗症候群	非常に 大きい	なし	あり
単純いびき症	大きい	なし	なし
